

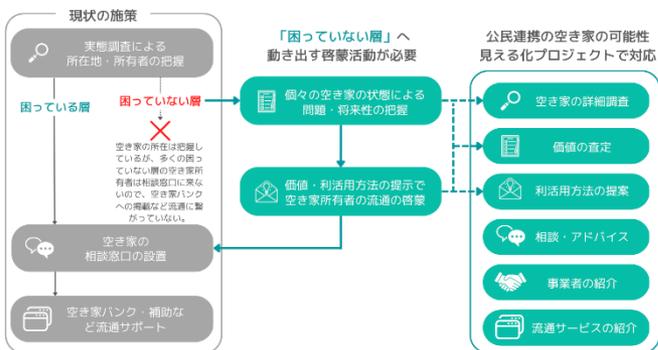
「動かない空き家」を動かすため、まだ「困っていない層」の空き家所有者に対し、全国7地域において、自治体との連携事業として、57件の空き家の価値の見える化調査を行い、空き家所有者が動き出すきっかけづくりを行なった。

■ 事業概要

事業部門	部門2 住宅市場を活用した空き家に係る課題の解決を行う事業
事業地域	行田市、川島町、神栖市、つくば市、色麻町、妹背牛町、三原市
背景・課題	空き家所有者の多くは、問題が顕在化していないため、空き家を動かそうとしていません。そういった空き家を動かすためには、問題が顕在化せず流通市場に出ていない、まだ「困っていない層」の空き家所有者を動かす必要があります。空き家サービスの多くは、問題が顕在化している「困っている層」に向けたサービスとなっているため、公民連携で困っていない層へのアプローチを行い、空き家の利活用や流通を促進する必要があると考えます。
目的	①「空き家の価値見える化」で空き家所有者が動き出す第一歩を作り出す。 ②利活用のサポートを行うことで「空き家の市場への流通」を促進する。
連携する団体・役割	行田市、川島町、神栖市、つくば市、色麻町、妹背牛町、三原市

事業の狙い

従来の行政の仕組みでは、これまで動き出さなかった層を動かすサービス



自治体との連携

自治体と連携し、公民連携事業として実施



プロジェクト概要

空き家の価値を見える化することで所有者が利活用に動き出すキッカケを作り出す



売却価格	賃貸価格	解体費用
修繕費用	物件周辺情報	災害リスク



従来の行政の施策では、空き家の実態調査で所在や所有者を把握しても、多くの方は相談窓口を訪れることがなく、空き家バンクへの掲載へ繋がりがありません。実態調査で把握した空き家所有者に個々の空き家に応じた問題や将来性の把握と、適切な利活用の啓蒙を行うことで、滞っていた「実態調査」→「相談」の歩留まりの改善が可能となります。